

回 胴 遊 商 の 足 跡



1994

回胴遊商の沿革

- 5月 回胴遊商事務局を開設（台東区上野6丁目新丸ビル5F）
- 6月 「回胴式遊技機販売商業会」設立総会開催（千代田区・半蔵門会館）会員数142社
初代会長に阿良木正氏を選出、会則及び会費規則を制定
- 9月 健全化・適正化推進委員会、広報委員会、網紀委員会、販売登録制度委員会の4委員会が発足
- 9月 第1回遊技機取扱主任者講習会が27日・28日の2日間開催（台東区東上野・ラ・ベルオーラム）、会長・副会長が出席
- 10月 広報誌「KAI DOYUSHO」第1号を発行、以降隔月で発行
- 10月 遊技機取扱主任者講習会が、その後全国8会場で継続して開催される
- 12月 松山／にぎたつ会館
10／6（木） 札幌／KKR札幌
10／20（木） 大阪／大阪府中小企業文化会館
10／24（月） 大阪／大阪府中小企業文化会館
10／25（火） 仙台／仙台市農協会館
11／1（火） 名古屋／栄山吉ビル
11／9（水） 名古屋／栄山吉ビル
11／10（木） 広島／八丁堀シャンテ
11／21（月） 福岡／福岡繊維会館ファッションビル
11／29（火） 東京／ラ・ベルオーラム
12／9（火）



初代 阿良木 会長



遊技業界の動向

- ギャンブル税構想が浮上、その後、廃案となる
- 全日遊連、有価証券の賞品化構想の試案を提示、この年、新商品買い取りシステムとの併設含め警察庁に陳情
- 日電協が第14回通常総会で「3号機」の製造・販売の中止を決定
- 日電協が「遊技機販売業者登録制度に関する規程」を制定
- 「遊技機販売業者登録制度」施行
日電協、封印時のワンチップ検査開始
- 現在の（株）ユニバーサルエンターテインメントより「クランキーコンドル」が登場、パチスロを新たな時代へと導くこととなる
その特徴は、その名のとおり特徴的なキャラクターであるコンドルをパネルや絵柄に採用し、標準的なAタイプに加えて大量リーチ目マシンとなったものであった
- 埼玉県寄居町で大量の廃棄遊技機の不法投棄が発覚、大きな社会問題となる
- 警察庁生活安全局長私的諮問機関「生活安全研究会」が中間答申を発表
「パチンコの景品交換業務は、第三者機関による管理が望ましい」と提言



広報誌

表紙

トピックス



「創業よりも守業」の言葉通り、初心を忘れず、一層の努力を
日本電動式遊技機工業協同組合 理事長 横内 基康氏



社団法人 日本遊技関連事業協会 会長 庄司 正英氏
回胴遊商は、業界の歴史の転換期に、必然的に誕生した組織

平成6年

1995

回胴遊商の沿革

- 2月 阪神・淡路大震災に対し義援金430万円を寄付
- 4月 「網紀委員会規則」を制定・施行
- 4月 第1回通常総会開催（台東区・池之端文化センター）会員数174社
- 6月 阿良木初代会長が辞任、新会長に山下皓副会長を選出
- 7月 副会長として小野純一理事を選出
- 7月 全国遊技機組合連合会（全機連）総会で回胴遊商の正式加入が決定
- 9月 遊技機取扱主任者講習会が、その後全国7会場で開催される
- 12月 札幌／ホテル札幌ガーデンパレス
9／12（火） 東京／ラ・ベルオーラム
9／26（火） 仙台／仙台市農協会館
10／11（水） 福岡／ホテルサンヒルズ
10／27（金） 大阪／プリムローズ大阪
11／7（火） 広島／メルパルクヒロシマ
11／28（火） 名古屋／タイホウインバーティンギビル
12／5（火）



山下 新会長



第1回 通常総会

遊技業界の動向

- 「パチンコホールビジネスフェア'95」開催
- 「型式検定に関する規則」一部改正
「取扱説明書」「諸元表」の添付義務付け
- 日電協、有識者と警察庁担当官を交えて「遊技機の在り方に関する検討委員会」を発足
- 遊技場自動サービス工業会で「貯玉保証基金」がスタート。
- 日電協「健全化対策実施要綱」を制定・施行
日電協メーカーが遊技機の販売を委託する業者は、回胴遊商または全商協に加入した登録販社であることなどを定める

広報誌

表紙

トピックス



全日本遊技事業協同組合連合会 理事長 越水 稔氏
メーカー、販売商社、ホールが、足並みを揃えて不正遊技機を根絶し、より愛され親しまれる業界に



遊技場メタル自動補給装置工業会 理事長 大泉 政治氏
情報交換を密にして積極的な連携を図り、健全化への前向きな努力を



6月1日から施行された「遊技機規則」の一部改正により、曖昧な「不適正機指摘」問題にヒリオリが打たれる



遊技機の廃棄台問題が深刻化するなかで、具体的な廃棄処理システムの確立に向けて始動



9月開催の理事会において、新規会員16社も加わり、さらに充実した健全化が図られる



1996

回胴遊商の沿革

平成 8 年

- 2月 全国の会員が一堂に会する初めての研修会を熱海で開催（ニュージャホテル）
- 3月 遊技機展示会が東京プリンスホテルで開催され、回胴遊商はパネル展示により会の活動状況を広くアピール
- 3月 広報誌「KAIDOYUSHO」特報号の第1号を全国ホル宛に発行
- 5月 第2回通常総会開催（台東区・池之端文化センター）
会員数 216 社
- 6月 全国を3地区（東京以北・中部・北陸、近畿及び中国・九州）に区分した地区研修会が第2地区（中部・北陸、近畿）を皮切りにスタート（京都市・石長松菊園）
- 6月 広報誌「KAIDOYUSHO」を6月号（通巻11号）から、全国各警察本部及び全国1261カ所の所轄警察署の風俗営業担当課へ送付開始（全発行部数3000部）
- 7月 健全化・適正化推進委員会が日電協の実務担当者で第1回目の合同会議を実施
- 9月 協同組合の法人化に向けて第1回目の「組合設立準備委員会」を開催
- 10月 法人化の是非を全組合員に問うアンケート調査を実施
法人化について、会員過半数の賛同を得たことから準備を開始



研修会



第2回 通常総会

遊技業界の動向

- 総務庁「パチンコ産業規模は、30兆4778億円」と発表
- 東北電子の「ジャグラー」は、GOGOランプが点灯すればボーナス確定という、非常にシンプルな完全告知の魅力を広く知らしめた
- 業界4団体が遊技業界健全営業推進会議を東京・九段会館で開催
10項目の自粛案を報告
- 自主撤去対象とする「社会的不適合機」108機種約80万台のリストを一般マスコミに公表
- 業界4団体で「遊技業2001年会」を発足
- 社会的不適合機（ばちんこ）の撤去を開始



表紙
広報誌
トピックス



- 「健全化・イコール」回胴遊商に結びつく社会的認知を実現するために一致団結していきたい
回胴式遊技機販売業協会 会長 山下 皓氏
- 7月、健全化に向けての様々なハードルが置かれた状況とこれを一致団結してクリアしていくための意識改革を図る
回胴式遊技機販売業協会 専務理事 山田 皓氏
- 9月の理事会で協同組合設立に賛同し、発起人4名と設立準備委員7名の入選が行われ承認
全日本遊技事業協同組合連合会 理事長 小野 金次氏
- 遊技業界は社会に対して自浄作用があることを示す必要に迫られ、業界4団体は2001年会を設け、具体的な自粛キャンペーンを開始
日本電動式遊技機工業協同組合 理事長 横内 基康氏

1997

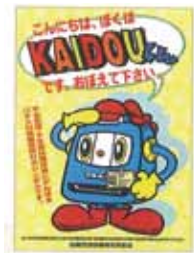
回胴遊商の沿革

平成 9 年

- 2月 新年研修会を熱海で開催（ホテル金城館）
- 3月 平成9年度から地区研修会を従来の3地区から7地区（北海道・東北・関東・中部・北陸、近畿・中国及び九州）に細分化して実施することを決定し、具体案は「地区研修会実行チーム」で検討
- 3月 日遊協「遊技機販売業者登録制度に関する規程」の一部改正が行われ、第3条に回胴遊商を明記
これにより回胴遊商は全商協に所属した組織から独立した組織として認知を得る
- 4月 「地区研修会実行チーム」が平成9年度地区研修会を7月から11月にかけて全国8箇所の会場で行うことを決定
- 4月 回胴遊商キャラクター「KAIDOUくん」が登場
- 4月 5月28日開催予定の「パチンコ・パチスロ新機種発表展示会」に回胴遊商キャラクター「KAIDOUくん」のパネル展示を行い、会の活動をアピール
- 5月 販売業者登録制度委員会により新規加入会員に対する初めての講習会を実施
- 6月 第3回通常総会を開催（台東区・池之端文化センター）
会員数247社、組合設立準備に関する件を上げ、全員賛成をもつて可決
- 6月 回胴遊商の会員証を作製、地区研修会参加者（1社1個）に配布することを決定
- 8月 全国のホールを対象に「パチスロⅡ回胴式遊技機」の浸透キャンペーンを実施
全国のホールにポスター・ステッカーを配布
- 11月 福岡県遊協との合同研修会を実施



新年研修会



遊技業界の動向

- 昭和60年の風通法施行以来、初めて遊技場件数が減少
- 「パチンコ・パチスロの新型機発表内覧会」開催
自主規制対応機の新内規のCR機登場
- 6団体により「中古機（ばちんこ）流通協議会」が発足
- 業界内に「遊技機リサイクル検討委員会」設置
- 全日遊連「遊技機廃棄等処理システム要綱」を制定
- （例）メシー販売の「サンダーV」は、予告音やリールバックライトのフラッシュなど、光と音を用いた演出で間違いなくパチスロの遊技の幅を広げたといっても過言ではなく、その後のパチスロの方向性を決定づけるものとなる
- 沖縄仕様30パイのパチスロ機、本土上陸



表紙
広報誌
トピックス



- 平成9年度の地区研修会は、細分化を図り全国7地区8会場に
回胴遊商は、設立の主旨を十分に認識され「販売業者登録制度」等の推進によって、業界の健全化に向けての役目を着実に果たされてきた
日本電動式遊技機工業協同組合 理事長 横内 基康氏
- 回胴遊商は、発足から3年が経ち、今日の土曜の基礎固めが、他の業界団体と同じように肩を並べるまでの存在に成長されたことは、実に喜ばしい限り
社団法人日本遊技関連事業協会 専務理事 岡 茂氏
- 日頃の営業活動における遊技機取扱上の「適正な販売ルート」「適正な設置」について、改めて確認を
回胴式遊技機販売業協会 会長 山下 皓氏

1月	回廊遊商規約第5号「設置確認シールの取扱規則」を制定 平成11年4月1日施行
2月	新年研修会を開催（港区台場・ホテルグランパシフィック メリディアン）
2月	7団体による「セキユリティー問題検討委員会」がセキユリ ティー確保につき提言事項を発表 当組合は「設置確認シール」貼付事業実施を提言
3月	警察庁生活環境課長に宛てた「設置確認シール発行について」 を提出 全国の営業本部及び所轄警察署の風俗営業担当者宛の文書を 同添し、了解を得る
3月	業界各団体に「設置確認シール」貼付事業につき、説明文書 を提出し了解を得る
4月	「設置確認シール」貼付事業を開始するとともに、貼付事業 に関する業界誌記者発表を実施
4月～ 5月	「設置確認シール」貼付事業の協力要請のため、健全化委員会 が全国8地区の全商協関係組合及び一部の県遊協に対し、担 当委員を派遣
6月	協同組合としての初の通常総会（第1回通常総会）を開催 （上野・池之端文化センター） 組合員数 341社新役員を選出
7月	回廊遊商規約第6号「健全化対策実施要綱」を制定・施行 要綱に則し「健全化ボックス」を事務局に設置
9月	緊急理事会を開催し、「健全化ボックス」に寄せられた情報を 基に、全組合員に対して全国調査実施を指示
10月	「回廊式遊技機のリサイクル及び廃棄台の適正な処理」につい ての提言をまとめ日電協に提出

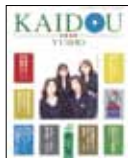
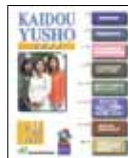


第1回 通常総会



設置確認シール (旧)

- 「日工組」リミッター廃止などC/R機の新内規発表
- 警察庁が平成10年度版「風営白書」発表
パチスロ機の設置台数100万台を突破
- 山佐㈱の「シーマスターX」が予告音やリールパツクライトのフラッシュなどかのチャンス予告からテトラリールと呼ばれる4本目のリールを搭載することで、新たなチャンス予告を発生させる方法を取り話題となる
- 現在の㈱ユニバーサルエンターテインメントより「オオハナジ」が登場し、親しみのあるキャラクターの採用、鉢巻きリールと呼ばれた4thリール搭載、そして大量獲得タイプに絶妙な技術介入を取り入れたゲーム性が受けて大ヒットを記録する
- サミー㈱の「ゲゲゲ鬼太郎」が、パチスロ初の液晶搭載機としてデビュー、テレビアニメを見ているが如く、液晶ディスプレイ内で繰り広げられる様々なチャンス予告で、あらたなパチスロの魅力を備えていた

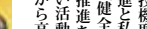


販売会社は、流通段階、セキリッ、強化のため、遊技機の設置作業は、遊技機取扱主が行うよう取り扱う管理の徹底を図る



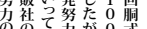
日本遊技機協同組合 理事 吉田 昌弘氏

業界が定めた「遊技機販売業者登録制度」並びに「遊技機取扱主資格制度」の推進と対策を定めて実施する



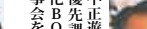
日本電動式遊技機協同組合 専務理事 吉田 健氏

「健全な娯楽施設を要綱の一活動の軸にしたるものな活動」が実現は否面から高く評価



日本電動式遊技機協同組合 専務理事 吉田 史郎氏

不正遊技機の昨今、現在、100万の台が突如と開いたが、これは1台の開発努力もありだが、なと、この間、同組合を通じて、多額の販社の万の並なならぬ、努力の賜と深く敬意を表す



不正遊技機協同組合 専務理事 吉田 史郎氏

不正遊技機の排が業界健全優先課題、同組合に緊要、B O の情報収集に緊要、事を開し、対策を協議



不正遊技機協同組合 専務理事 吉田 史郎氏

バチス人気を著す必要、めには不正機の駆逐が必要、要綱を「健全な娯楽施設を要綱」に評価

回
胴
遊
商
の
沿
革

遊技業界の動向

表紙

廣報誌

トピックス

1月	沖縄県遊協との合同研修会を実施
2月	新年研修会を開催（港区台場・ホテル日航東京）
2月	「パチンコ・パチスロ産業フェア'98」（千葉県幕張メッセ）にパネル展示で参加
3月	従来の委員会を解体。 新たに次の5つの専門委員会を設け新年度から対応すること を決定 総務委員会・広報委員会・事業委員会・健全化委員会・リサイクル委員会及び、綱紀委員会（専門委員会とせず必要に応じて役付理事により対応）が発足
6月	第4回通常総会及び「回胴式遊技機商業協同組合」創立総会を開催（台東区・池之端文化センター）会員数285社 組合役員の選出により、理事長山下皓（前会長）、副理事長として中村昌勇、小野純一、中尾和資（いずれも前副会長）の各氏を選出
7月	関東通商産業局から「回胴式遊技機商業協同組合」設立の認可が下りる
7月	所轄法務局へ組合登記を申請し、これが受理され組合が成立
8月	回胴遊商規約第2号「綱紀に関する規則」制定・施行、これにより従来の「綱紀委員会規則」は廃止
8月	回胴遊商規約第3号「組合加入規則」制定・施行
8月	回胴遊商規約第4号「遊技機取扱者証の取扱規則」制定・施行、従来の「遊技機取扱者証の取扱規則」は廃止
8月	「検定申請書類の偽造事件の概要と偽造防止」について、 兵庫県警より近畿地区組合員を対象に説明会が開催される
10月	回胴遊商規約第1号「回胴式遊技機商業協同組合規約」制定・施行
10月	日電協との合同会議を実施し、「遊技機の実態に関するアンケート」結果からの不正機対策、中古機流通の簡素化等につき意見交換を実施
11月	日電協理事長宛文書「回胴式遊技機の諸問題に関する要望について」を提出



第4回 通常総会及び回胴遊商創立総会



パチンコ・パチスロ産業フェア '98

○千葉県の幕張メッセで「パチンコ産業フェスタ'98」開催され、パチスロもチャレンジタイム搭載機（CT機）を展示して注目を集めることとなる

○市場に投入されたCT機は、サミー㈱の「ウルトラマン倶楽部3」

○現在のネット㈱の「クロスCT」と
次々にCT機が登場することとなる



回胴遊商の沿革

遊技業界の動向

表紙

廣報誌

トピックス

2002

回胴遊商の沿革

- 1月 日電協との連絡会議開催（台東区上野・東天紅）
- 2月 新年研修会を開催（港区台場・ホテルグランパシフィック メリディアン）
- 2月 広報誌を全国のホール法人（約4600社）へも送付することを決定
- 3月 平成13年度事業収益金の一部を社会貢献として中央共同募金会など5団体に寄贈
- 3月 全組員に対し「中古機移動に関するアンケート」を実施、結果を日電協に報告
- 3月 健全化委員会の名称を機械対策委員会に名称変更
- 5月 第4回通常総会開催（港区台場・ホテルグランパシフィック メリディアン）組員数 441社
- 7月 古物営業許可取得状況の実態調査を実施
- 8月 宇都宮市内のパチンコ・パチスロ野積み台撤去の功労を称え、宇都宮市長から感謝状が贈られる
- 8月 「パチンコ・パチスロ産業フェア2002」開催（千葉県幕張メッセ）組合ブースを出展し参加、リサイクル委員会制作ビデオを放映
- 11月 「設置確認シール」前面貼付につき警察庁生活環境課長あて文書提出と担当官に要旨説明
- 11月 日電協はじめ業界6団体へ「設置確認シール」前面貼付につき説明及び文書を提出
- 11月 「設置確認シール」前面貼付の記者発表（平成15年1月1日から実施）
- 12月 パチスロ流通委員会（特別委員会）により「設置確認シール」管理システムが最終決定、12月4日開催の理事会でこれを承認



第4回 通常総会



パチンコ・パチスロ産業フェア 2002

遊技業界の動向

○山佐（株）より「ネオプラネットXX」が登場
透明Eレディスプレイをリール前面に搭載し、業界内で高い評価を受け、市場にセンセーション的な衝撃を与えた



○千葉県の幕張メッセで「パチンコ・パチスロ産業フェア2002」開催



○主基板を本体かしめにより装着した状態での出荷がスタート

○金地金などの商品提供が可能となる

○日電協、自主規制撤去対象リストを発表

○パチスロ機の分離筐体が初登場

遊技業界の動向

○1千台規模の大型店舗が続々オープン

○運送業者による「遊技機運送事業協同組合」設立

○（株）大都技研から「吉宗」が登場
コミカルなキャラクターの登用とシャッター役物の搭載、大量獲得とストックを融合したゲーム性で大ヒットを記録



○サミー（株）から「北斗の拳」が登場
パチスロ販売史上最高の販売台数60万台超を記録



表紙

広報誌

トピックス

日本電動式遊技機工業協同組合 技術部長 藤田 昭氏
ゆりかこから登場まで、遊技機を不正から守るため、高度に進化を続けるセキユリテイチップ

回胴遊商が胸を張って業界のあらゆる施策を任されるよう、しっかりとした基盤作りとさらなる健全化を目指す
日本遊技機工業協同組合 理事長 山田 皓氏
セキユリテイ問題検討委員会やPSIOに対しての絶大なご支援に感謝
社団法人 日本遊技機工業協同組合 会長 深谷 友寿氏

「設置確認シール」平成15年1月1日から遊技機前面へ貼付、設置責任をより明確にし、不正防止の強化を図る
※新旧の「設置確認シール」

真夏の「パチンコ・パチスロ産業フェア2002」盛況裡に終了、回胴遊商ブースも人の波で一杯、安全への配慮に徹したオリジナルグッズ「ミニ扇風機」が集まった人たちの心を和ませる

表紙

広報誌

トピックス

社団法人 日本遊技機工業協同組合 会長 深谷 友寿氏
我々の業界も大衆娯楽という中において、この「不肖身命」という言葉を胸に刻んで、明るい業界の繁栄に努力すべきなのではないか

「設置確認シール」管理システムの稼働で設置責任の重要性を高める
実務担当者説明会

文部科学省 国際学部教授 山田 敏祥氏
行き過ぎた射幸性にプレッシャーをかけながら業界の健全な発展を目指すという大変なことになる

札幌方面遊技機工業協同組合 理事長 高木 勲氏
ICタグによる一元管理と横断的な組織の設立による遊技機管理システム強化を提案
佐賀県遊技機工業協同組合 理事長 新富 繁樹氏

真の顧客は遊技ファン、歴史と道徳観指針として新しいバタンの積極的な行動が望まれる
日本電動式遊技機工業協同組合 技術部長 藤田 昭氏
ID番号付与チップによる不正対策は次のステージへ

2003

回胴遊商の沿革

- 1月 「設置確認シール」の遊技機筐体の前面貼付がスタート
- 1月 「設置確認シール」管理システムのFAX/OCR方式を開始
- 1月 新年研修会開催（千代田区・グランドアーク半蔵門）
- 1月 「設置確認シール」管理システム実務者説明会を全国9会場（全15回）で開催
- 2月 事業委員会と総務委員会を統合して事業・総務委員会とする
- 3月 「設置確認シール」管理システムのインターネット方式を開始
- 3月 平成14年度事業収益金の一部を社会貢献として中央共同募金会など6団体に寄贈
- 5月 第5回通常総会を開催（千代田区・グランドアーク半蔵門）組員数 441社
- 5月 理事長に篠崎好智氏、副理事長に伊豆正則、伊田泰久、星野吉延、中田明弘、総田勝、大饗裕記の6氏（何れも新）を選出、役員改選で新執行部がスタート
- 7月 北海道地区を皮切りに、リサイクル選定業者見学会が全国各支部で行われる
- 8月 ぱちんこ中古機流通への参入につき全商協と大筋で合意
- 9月 回胴遊商規約第9号「賛助会員に関する規約」制定・施行
- 9月 回胴遊商と全商協が、回胴遊商組員会（ぱちんこ中古機流通事業への参入で覚書調印）
- 11月 回胴遊商規約第10号「回胴遊商ぱちんこ中古機流通事業健全化に関する規約」制定・施行はぱちんこ中古機流通に正式参入「日電協セキユリテイ総合管理システム」説明会を開催（事務局会議室）



篠崎 新理事長



第5回 通常総会



設置確認シール（新）

2004

平成
16年

回胴遊商の沿革

1月 組合事務所の移転完了（台東区上野6丁目から東上野1丁目）

1月 新年研修会を開催（千代田区・グランドアーク半蔵門）
「不正遊技機排除宣言」を行う

3月 社会福祉法人中央共同募金会（財）警察育英会
（財）犯罪被害救済基金、（財）麻薬・覚醒剤乱用防止セン
ターの4団体への寄付金の贈呈式を行う

5月 第6回通常総会及び回胴遊商創立10周年記念式典を開催
（千代田区・グランドアーク半蔵門）
式典の特別講演に竹村健一氏を迎える

11月 新潟県中越地震被災者への義援金の支援

12月 台風23号で被災した日本赤十字社兵庫県支部に対して義援
金を送る



竹村健一氏



創立10周年記念式典

遊技業界の動向

○新しい遊技機規則が施行

○約13年という長きに渡り慣れ親しんだ4号機から
2年の経過措置を経て新しい規定に基づいた5号
機への移行が始まる

○新遊工、新ジャンル「パロット」の概要を示す

○幼児の社内放置事故が社会問題化となる

○大阪で女性専用・全席禁煙店舗がオープン

○遊技機取扱主任者規程及び遊技機登録販売業者登
録制度が施行

○パチンコ業界を舞台とした新手法の「振り込め詐欺」
が発生する

広報誌

表紙

トピックス



暴力団排除と金貨流通シ
ステムを不届の精神で実現
「できるわけない」から「や
るしかない」に変える勇気
を
2005年の愛知万博への
出展で遊技業界を広くア
ピール「ぼんちん」の地
愛知から娯楽の未来が見え
てくる
福岡県遊協
理事長
金本 正浩氏
愛知県遊協
理事長
大山 行夫氏
長野県遊協
理事長
青松 英和氏
長野県人伝の進取の精神で
新規にも素早く対応、経
営者の意識と組合の団結力が
業界の新时代を切り拓く
静岡県遊協
理事長
佐原 英雄氏
山梨県遊協
理事長
越水 宏一郎氏
時代に即した「適正値」を
冷静に見極める、統一され
たモラルの確立が業界発展
への鍵となる

2005

平成
17年

回胴遊商の沿革

1月 スマトラ島沖地震と津波による被害に対して、国際貢献の
一環として救済金の募金活動を行い支援

3月 社会福祉法人中央共同募金、（財）警察育英会、
（財）犯罪被害救済基金、（財）麻薬・覚醒剤乱用防止
センターの4団体への寄付金の贈呈式を行う

5月 第7回通常総会開催（文京区・東京ドームホテル）
役員改選等を議決 篠崎理事長の後任として新理事長に
伊豆 正則氏を選出

6月 新体制のスタートに当たり、業界誌との共同記者会見を開催

8月 「幼児車内放置ゼロ」巡回活動を開始
活動ツールとして、車内巡回中表示プレート及び巡回中表示
名札を製作し、組合員等に配布

11月 5号機以降の回胴式中古遊技機流通業務の健全化に向け、
全国遊技機商業協同組合連合会と合意事項を盛り込んだ
覚書に調印

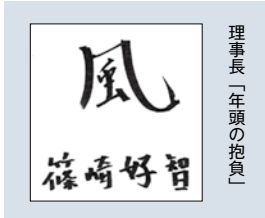
12月 東京国際フォーラムで開催された「遊べるパチンコ・パチ
スロオープンフォーラム2005」に業界団体として後援



全商協との調印式



伊豆 新理事長



理事長「年頭の抱負」

遊技業界の動向

○(株)ビステイから「新世紀エヴァンゲリオン」が初
のパチスロ5号機として登場



○第3者監視機関「PTB」設立

○愛知県遊協「愛・地球博」に出展

○東京都三田でピーアークが1円パチンコの営業を
開始

○マルハン・ダイナムが売上1兆円突破

○業界12団体で「みなし機」撤去猶予を陳情

○東京「遊べるパチンコ・パチスロオープンフォー
ラム」開催

広報誌

表紙

トピックス

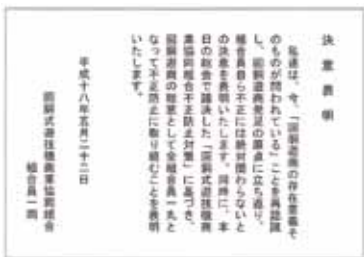
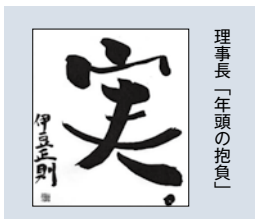


宮城県遊協
理事長
小山 重道氏
発展を遂げた今こそ基本理念
の見直しを、遊技ファンにと
もに歩む健全な娯楽への道
青森県遊協
会長
大西 康弘氏
歴史に支えられた団結力で試
練を乗り越え、業界
全体の将来を見据え、組合の
新しい役割を模索する
福島県遊協
理事長
金井 太河氏
日本の産業界に押し寄せてい
るグローバルな資本主義思想
が浸食しつつある遊技業界で
は、組合という組織が個店
を守っていく時代は終りを告げ
ている
秋田県遊協
理事長
新井 昌吉氏
業界の健全な競争や育成を
目指した規制や団結は、遊
技ファンに安心して楽しめる
遊技場を提供する
他県と隣接しない地理的要
件の中、県下の全組合員対
して「強制」ではなく「お願
い」の心で共生を図る姿勢が
沖縄を健全化の方向に導く

2006

回胴遊商の沿革

- 1月 「個人情報保護に関する基本規程」を制定・施行
- 2月 アイドリングストップ活動を促進するためのステッカーを製作し、組合員等に配布
- 3月 不正防止対策として回胴遊商健全化プロジェクト（仮称）を作り検討を開始
- 3月 （財）犯罪被害救済基金、（財）警察育英会、（財）麻薬・覚醒剤乱用防止センター、（財）エイズ予防財団、（財）日本盲導犬協会、柏朋会の6団体への寄付金の贈呈式を行う
- 4月 回胴式中古遊技機の流通において、中古機流通協議会からの委嘱を受け、回胴遊商による書類打刻業務及び確認証紙の発行業務が開始される
- 5月 第8回通常総会開催（文京区・東京ドームホテル）
「回胴式遊技機商業協同組合不正防止対策」を議決し決意表明を行う
- 5月 全国各支部で「遊技機取扱主任者の目視点検確認スキルアップ研修会」を開催
- 5月 「幼児車内放置ゼロ」巡回活動において、この年から毎年5月1日より10月末日までを「強化月間」とし、7月1日から8月末日までの2ヶ月間を「特別強化月間」として活動を推進 この年の活動ツールとして、巡回中表示腕章を製作し、組合員等に配布
- 6月 「幼児車内放置ゼロ」巡回活動において、組合員4社により6名の幼児を発見
- 9月



不正防止対策決意表明

遊技業界の動向

- みなし機・検定機・認定機ともに市場から完全に撤去され5号機時代の突入となる
- 「機歴管理システム」構築した回胴遊商が中心となり、メーカー主導で行われてきたパチスロ中古機を販売業者主導で行うこととなる
- パチスロの設置台数が200万台超となる
- 全日遊連の支援で「リカバリサポート・ネットワーク」設立
- ゴト対策ガイドラインを業界7団体で合意
- 同友会、有限責任中間法人となる
- 業界12団体「有限責任中間法人遊技産業健全化推進機構」設立
- 東京池袋で「手軽に安く遊べるパチンコ・パチスロ展示会」開催



表紙

広報誌

トピックス



- 京都府遊協 理事長 白川 鐘一氏
- 愛媛県遊協 理事長 日野 二郎氏
- 石川県遊協 理事長 玉川 昌範氏
- 鹿兒島県遊協 理事長 西川 明寛氏
- 宮崎県遊協 理事長 前崎 善彦氏
- 長崎県遊協 理事長 中島 義雄氏

平成18年

2007

回胴遊商の沿革

- 5月 「幼児車内放置ゼロ」巡回活動の活動ツールとして、ダッシュボード用マットを製作し組合員等に配布
- 5月 第9回通常総会開催（文京区・東京ドームホテル）役員改選等を議決
前年「幼児車内放置ゼロ」巡回活動に尽力した組合員4社を表彰
- 7月 「幼児車内放置ゼロ」巡回活動において、組合員1社により1名の幼児を発見
- 10月 4号機から5号機に完全移行
- 10月 かながわ水源の森林づくり事業に対する当組合の寄付と現地での植樹活動に対し、神奈川県松沢成文知事（当時）から感謝状授与
- 11月 全国各支部において「遊技機取扱主任者のスキルアップ研修会」を開催
- 12月 神奈川県足柄上郡松田町寄（やどりき）において植樹活動を実施
- 12月 近畿打刻事務所を開設



神奈川県松沢知事(当時)から感謝状授与



やどりきでの植樹活動



近畿打刻事務所

遊技業界の動向

- 遊技産業健全化推進機構がホールへの立ち入り検査を開始
- ㈱北電子から「アトムジャグラーEX」が登場
GOGOランプを搭載したジャグラーシリーズの最新且つ5号機最初のジャグラーとして注目を集める
- ㈱ジーピーエスからボーンラス成立後のRTを利用するという、それまでにないゲーム性持った「2027」が登場
- 山佐㈱から「パチスロ戦国無双」
- サミー㈱から「パチスロ交響詩篇エウレカセブン」
- ㈱ロデオから「新鬼武者」
- 「手軽に安く遊べる遊技機」導入促進を日遊協・同友会・余暇進・PCSAの4団体が決議
- 低貸玉営業の店舗が急増する



表紙

広報誌

トピックス



- 大分県遊協 理事長 在哲氏
- 熊本県遊協 理事長 岩下 博明氏
- 山形県遊協 理事長 井上 静夫氏
- 旭川方面遊協 理事長 田中 龍雄氏
- 函館方面遊協 理事長 金光 守弘氏
- 岡山県遊協 理事長 高男氏

平成19年

平成 21 年 2009

回胴遊商の沿革

2月 中部・北陸打刻事務所を開設

4月 東北打刻事務所を開設

5月 コンプライアンスの実践を目的としたガイドブック「信頼への道」を制作し組合員等に配布

5月 第11回通常総会開催（文京区・東京ドームホテル）総代会の導入を承認「コンプライアンス宣言」を行う

10月 全国各支部において地域に根ざした環境保全活動を実施（清掃活動・植樹後のメンテナンス活動・サンゴの植付け）

4月 理事「年頭の抱負」

10月 中国・四国打刻事務所が、岡山市内において移転し、業務を開始

11月 全国各支部において、「遊技機取扱主任者のスキルアップ研修会」を開催

12月 中古・認定書類の打刻申請の際に繰り返し使用できる「エコバッグ」を製作し九州・沖縄支部で試験運用を実施

12月 総代会導入後初となる総代会を、臨時総代会として開催（千代田区・K R ホテル東京）

臨時総代会

コンプライアンスガイドブック

東北打刻事務所

中部・北陸打刻事務所

遊技業界の動向

○第二回「パチンコ・パチスロ産業賞詞交歓会」開催

○遊技機の販売方法に関する自主規制を4団体で合意

○全日遊連、「攻略法」などの不正業者65業者の名前をホームページで公開

○回胴式遊技機製造業者が集い「連絡会」設立大会を開催

○警察庁、平成20年のホール店舗は1万2937店となり13年連続で減少と発表

○遊技メーカーが製造し、警察庁保安課及び都道府県警察から確認を受けた場合は、不正対策部品を取り付けたままでの申請が可能となる

○「回胴式遊技機製造業者連絡会」が初会合開催

○設置台数1840台の日本最大級の店舗がオープン

パチンコ・パチスロ産業賞詞交歓会

表紙

広報誌

トピックス

高年齢者をターゲットとした営業手法の確立が不可欠

新潟県遊協 理事長 佐藤 孔一氏

兵庫県遊協 理事長 米田 義一氏

岩手県遊協 理事長 秋山 照明氏

全員の意識改革と協力姿勢で、社会から理解される業界へ

全日本遊技事業協同組合連合会 理事長 原田 貴氏

幅広いファン層を獲得していくためには、ばちんことパチスロが車の両輪のようにバランスを保ちながら前進していく必要がある

日本電動式遊技機工業協同組合 理事長 里見 治氏

平成 20 年 2008

回胴遊商の沿革

2月 「幼児車内放置ゼロ」巡回活動に役立つような工夫をほどこした回胴遊商大型特製カレンダーを製作し、組合員等に配布

4月 九州・沖縄打刻事務所を開設

5月 全国各支部において「認定申請業務に関する講習会」を開催

5月 中国・四国打刻事務所を開設

5月 第10回通常総会開催（文京区・東京ドームホテル）役員改選等を議決

前年「幼児車内放置ゼロ」巡回活動に尽力した組合員1社を表彰

10月 沖縄県宜野湾市においてサンゴの保全活動（植付け）を実施

11月 大阪府豊能郡豊能町切畑においてアドプトフォレスト制度に基づき、植樹活動を実施

12月 北海道打刻事務所を開設

北海道打刻事務所

中国・四国打刻事務所

九州・沖縄打刻事務所

理事「年頭の抱負」

遊技業界の動向

○パチンコ・パチスロ産業21世紀会による15団体関係者が集まった初の「賞詞交歓会」開催

○ゴト対策に関する4団体協議会開催

○北海道「洞爺湖サミット」開催に併せて1ヶ月間の遊技機導入自粛実施

○パロットの新遊工が解散

○違法（闇スロ）店の摘発が相次ぐ

○全日遊連、神奈川県受動喫煙防止条例で要望書提出

パチンコ・パチスロ産業賞詞交歓会

表紙

広報誌

トピックス

業界の発展を食い止めるため、高コスト体質の改善に知恵の結果を導く

全日本遊技事業協同組合連合会 理事長 山田 茂則氏

「ピンチはチャンス」、不正防止と魅力ある機械の開発が業界の再生、発展へ導く

新潟県遊協 理事長 松本 時夫氏

大衆娯楽へ回帰するために営業方法の再構築が必要

栃木県遊協 理事長 安田 範氏

真の「大衆娯楽」確立のために高コスト体質の改善が急務

群馬県遊協 理事長 金山 茂氏

北見方面遊協 理事長 畑中 正義氏

平成
23年

2011

回胴遊商の沿革

- 3月 日電協・回胴遊商が、「開スロ撲滅推進実行委員会」を設置
- 3月 東日本大震災発生（3/11）に伴い、大阪で緊急理事会を開催し、「復興対策支援本部」を設立。被災した東北支部組合員に災害見舞金と支援物資を配布
- 4月 全国各支部において地域に根ざした環境保全活動を実施
- 5月 “KIZUNA（絆）”を合言葉とした「東日本大震災復興支援パッジ」を製作（文京区・東京ドームホテル）
- 5月 第13回通常総代会開催
- 5月 日電協・回胴遊商が、被災地支援活動として、宮城県内において移動式「シャワーコンテナ」の提供による入浴サービスを実施
- 6月 「幼児車内放置ゼロ」巡回活動の活動ツールとしてビブスを製作し、組合員等に配布
- 6月 日電協・回胴遊商が、宮城県石巻市内において炊き出し支援活動を実施
- 7月 「幼児車内放置ゼロ」巡回活動において、組合員2社により3名の幼児を発見
- 8月 日電協・回胴遊商が、宮城県石巻市内において第2弾の炊き出し支援活動を実施し、「パチボー・スロタン」の夏祭り」を同時開催
- 10月 日電協・回胴遊商が、宮城県及び岩手県内の合計14ヶ所の自治体や団体に対して専用車輦としてワゴン車（15人乗り）合計14台を贈呈
- 12月 臨時総代会を開催（千代田区・KKRホテル東京）
- 12月 日電協・回胴遊商が、宮城県仙台市内において開催されたTBC（東北放送）ラジオ主催の「宮城県仮設住宅カラオケ歌合戦」に特別協賛



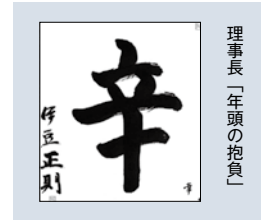
カラオケ歌合戦（宮城）



ビブス



シャワーコンテナ



理事長「年頭の抱負」

遊技業界の動向

- 第四回「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」開催
- 警察庁、東日本大震災で節電、各種申請等の自粛等で協力要請
- 遊技産業推進機構、計数機検査を開始するとともにレントゲン検査等の導入を決定
- ホール5団体、総付景品等の提供に関するガイドラインを自主作成



表紙

広報誌

トピックス



地域社会と強調する姿勢を大切にしながら、業界が足並みを揃えて前進しなければならぬ。

確かな経営を再構築するには、過去の反省点を踏まえた着実な改善が必要。

少ない金額で楽しめる遊技環境とそので成り立つ経営の構築が急務。

遊技機の低価格化と不正防止対策の強化を望む。

業界の発展に向け大局的な見地に立ち、お客様を惹きつける努力を。



日電協理事長 里見 治氏、回胴遊商理事長 伊豆 正則氏

平成
22年

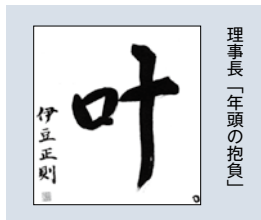
2010

回胴遊商の沿革

- 1月 「NPO法人エコキャップ推進協会」に協賛し、ペットボトルのボトルキャップの回収によるボランティア活動を開始
- 2月 日電協・回胴遊商が、パチスロファンの参加によるイベント「なんとかしようよ!! パチスロ文化」を開催するとともに、業界関係者による討論会を開催（千代田区・秋葉原）
- 3月 全国会支部において、「遊技機取扱主任者のスキルアップ研修会」を開催
- 3月 臨時総代会を開催（台東区・ラ・ペルオーラム）
- 3月 全国において、「エコバッグ」の運用によるCO₂削減の取り組みを開始
- 4月 全国各支部において地域に根ざした環境保全活動を実施
- 5月 日本記念日協会から、8月4日を「パチスロの日」とする登録証が交付される
- 5月 第12回通常総代会開催（文京区・東京ドームホテル）
- 6月 中古機流通協議会において、「型式の同一性の確保」及び「責任の明確化」を主眼とした中古機流通の新たな運用が決定し、新制度が開始される
- 7月 日電協・回胴遊商が、「8月4日はパチスロの日」のオープンキャンペーンを実施



エコバック



理事長「年頭の抱負」

遊技業界の動向

- 第三回「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」開催、4団体合意、ホール5団体合意文書を発表
- 全日本社会貢献団体機構など3団体主催で「社会貢献フォーラム」開催
- ホール5団体「エコホール宣言」発表
- 「国際観光産業振興議連」（カジノ議連）設立
- 遊技産業健全化推進機構の平成21年の立入検査店舗を4494店と発表
- 「新中古機流通制度」の運用開始
- APEC開催に併せ、全国のホールで機械の入替自粛



表紙

広報誌

トピックス



組合員同士が本音でぶつかり合う全員参加型の組合運営

各団体の歩み寄りがさらに進むことで、回復・発展への原動力となることを望む

どのような時代を迎えようとも「娯楽の王様」としての地位は不動

業界として、あるべき姿や方向性を見据えて行動する

課題のひとつとして、回復・発展に近づく

全員が共通のビジョンで協力、前進することで未来は明るいものになる



回胴遊商理事長 伊豆 正則氏、回胴遊商会長 深谷 友寿氏

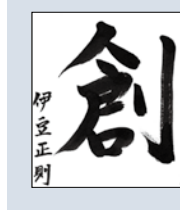
2012

回胴遊商の沿革

- 2月 回胴遊商が、闇スロ撲滅を目的に4号機の回収に取り組み
- 4月 日電協・回胴遊商が、闇スロ情報収集サイトを開設
- 4月 日電協・回胴遊商が、闇スロ撲滅に関する啓蒙ポスターを制作し5万枚を全国のホール等に配布
- 4月 全国各支部において地域に根ざした環境保全活動を実施
- 5月 第14回通常総代会開催（文京区・東京ドームホテル）
組合大会において、前年「幼児車内放置ゼロ」巡回活動に尽力した組合員2社を表彰
- 5月 日電協・回胴遊商が、岩手県、福島県、宮城県内の仮設住宅においてカラオケバス「パチボー・スロタン号」の巡回活動を実施
- 8月 日電協・回胴遊商が、「パチスロ元氣祭り in 秋葉原」を開催（千代田区・秋葉原）
- 10月 日電協・回胴遊商が、福島県福島市内において開催されたラジオ福島主催の「福島県緊急仮設住宅カラオケ歌合戦」に特別協賛
- 10月 北海道打刺事務所が、札幌市内において移転し、業務を開始
- 11月 日電協・回胴遊商が、岩手県大槌町教育委員会に対して、大槌町内の被災した4小学校の統合に伴う閉校記念誌及び新設された小学校の校旗の製作費の寄付を実施
- 12月 臨時総代会を開催（千代田区・KKRホテル東京）



カラオケ歌合戦（福島）



理事長「年頭の抱負」

遊技業界の動向

- 第五回「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」開催
- 日遊協が行った2011年ファンアンケート調査において若者を中心にパチスロ回帰傾向と発表
- 警察庁2011年風営白書によると5年ぶりにパチスロ設置店が増加
- 日工組、「ECO遊技機」構想発表
- ダイナム、香港市場に上場
- 遊技産業健全化推進機構の立入検査に秋田県のホールが初の立入拒否



パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会

表紙

広報誌

トピックス

- 両団体が協力し、より優れたシステムの構築を図り、中古流通業務の効率化へ
- 輪番休業を経験して、業界全体の利益を考える経営哲学が、各企業と団体で求められている
- 深刻な被害を乗り越え、大部分の店舗が営業を再開し、復活に挑む
- 東北遊商会長 竹田 隆氏
- 回胴遊商理事長 伊豆 正則氏
- 全関東遊技業組合会長 青松 英和
- 高知県遊協理事長 藤井 義久氏
- 福島県遊協理事長 加藤 英彦氏
- 中古機流通制度の適正・円滑な運用を促す
- 業界団体が業種の垣根を越え、大局的な見地に立った施策を講ずるべき
- 長期的な視野に立った自主規制を整備し、非加盟企業も含めた全店が広告・宣伝等の厳しい自主規制を遵守



2013

回胴遊商の沿革

- 2月 日電協・回胴遊商が、諏訪東京理科大学の篠原菊紀教授に依頼し、パチスロ機が中高年層の脳に与える影響についての実証調査を実施
- 3月 日電協・回胴遊商が、岩手県大槌町内の被災した4小学校の合同閉校式典及び新設された大槌町立大槌小学校の開校式に出席
- 4月 中国・四国打刺事務所が、岡山市内から広島市内に移転し、業務を開始
- 5月 日電協・回胴遊商が、岩手県北上市内において開催されたIBC岩手放送主催の「岩手県仮設住宅カラオケ歌合戦」に特別協賛
- 5月 第15回通常総代会開催（文京区・東京ドームホテル）
- 6月 日電協・回胴遊商が、「パチボー・スロタン号」をさらに改造し、パチスロ機も搭載して、13箇所の高齢者の福祉施設の慰問を実施
- 7月 回胴遊商が、パチスロファン拡大を視野に、「女子大生対抗パチスロPRガール決定戦!!」に特別協賛
- 8月 全国各支部において地域に根ざした環境保全活動を実施
- 8月 日電協・回胴遊商が、「パチスロ感謝祭2013」を開催（千代田区・秋葉原）
- 10月 日電協・回胴遊商が、岩手県盛岡市において開催されたIBC岩手放送主催の「ふるさと三陸オリジナル井クランプリ」に特別協賛
- 11月 全国各支部において、「中古機流通事業」に参加している全遊技取扱主任者対象講習会」を開催
- 12月 臨時総代会を開催（千代田区・KKRホテル東京）



パチスロ感謝祭2013



カラオケ歌合戦（岩手）



理事長「年頭の抱負」

遊技業界の動向

- 第六回「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」開催
- 遊技機の型式試験業務を実施できる指定試験期間として、新たに一般社団法人遊技機試験機構を認定
- レジャー白書2013、2012年の遊技産業の規模が19兆円代に回復と発表
- 警察庁が「賞品の提供方法に関する基準」「遊技機の変更」で新解釈運用基準
- 賞品の取り揃えに関し履行されず、由々しき事態にあるとの立場から警察庁「賞品の取り揃え充実」で通知



パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会

表紙

広報誌

トピックス

- 業界をあげた大衆娯楽回帰への取り組みが必要
- 全関東遊連との連携を強化し、「のめり込み」問題対策でも大きな成果を得る
- 東京都遊協理事長 阿部 泰久氏
- 回胴遊商理事長 伊豆 正則氏
- 脳活性化において、パチスロ経験者に様々な優位性、護予防にも有効
- 8月4日はパチスロの日「パチスロ感謝祭2013」トピック
- 「パチスロ感謝祭2013」PS大賞授賞式



平成
26年

2014

回胴遊商の沿革

- 1月 2010年にエコキャップ収集ボランティア活動を開始して以来、ワクチン1000人分相当のキャップ回収を達成
- 2月 東北打刻事務所が仙台市内において移転し、業務を開始
- 3月 日電協・回胴遊商が、「回胴祭2014」及び「回胴夢キャンペーン」についてのプレス発表会を開催（渋谷区・原宿クエストホール）
- 3月 日電協・回胴遊商が、夕張市に「パチボー・スロタン号」を贈呈
- 4月 全国各支部において支部事務所を開設
- 4月 回胴式遊技機リサイクル管理票の新たな運用を開始
- 5月 第16回通常総代会・組合大会及び回胴遊商創立20周年記念式典・祝賀会を開催（港区・グランドプリンスホテル新高輪）
- 7月 日電協・回胴遊商が、福島県郡山市において、「浜通りふるさとまつり2014」を開催
- 8月 日電協・回胴遊商「回胴祭2014」を開催



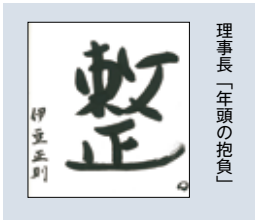
記念式典



記念祝賀会



「パチボー・スロタン号」贈呈



理事長「年頭の抱負」

遊技業界の動向

- 第七回「パチンコ・パチスロ産業買収交歓会」開催
- パチンコ・パチスロ産業21世紀会で合意された「2014年宣言」が発表された



パチンコ・パチスロ産業買収交歓会

- 3月 日電協が「健全化セキユリティー委員会 合同研修会」を開催
- 3月 日電協が「第一回実務担当者説明会」を開催
- 4月 日遊協、一般社団法人となる
- 6月 日電協が、周辺基盤関連のゴト及び対策、遊技機の流通セキユリティーの取組み等について、「第10回回胴式遊技機製造業者連絡会」を開催



「回胴祭2014」告知ポスター

表紙

広報誌

トピックス



7月26日、福島県郡山市において、「浜通りふるさとまつり2014」開催



「パチンコ・パチスロ市場の現状と今後2014」セミナー開催



パチボー・スロタン号



各団体が共通の問題意識を持ち、同じ方向に前進することが重要



Team Kaidou Spirits

私たち回胴遊商は、組合独自の自己規制と業界が定めた資格制度を厳格に守ることにより、遊技機の適正な流通に寄与する責務を担う。